

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

60号

2015年5月18日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DCC会館内
TEL 043-2222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

韓国・沖縄に続き6・7日比谷へ

労働運動の復権かちとり 情勢転換させる大集会を

6・7全国集会に向けて呼びかけ人会議を開催しました。呼びかけ人の発言の一部を紹介します。見出しを含め文責は事務局にあります。

国鉄闘争の意義は大きい

葉山岳夫 (弁護士・動労千葉顧問弁護士)

昨年6月末に最高裁へ上告理由書の補充書を提出した。最高裁は、昨年末、年度末も棄却できなかった。

国鉄改革法自体が憲法違反。最高裁調査官から国鉄に出向した江見弘武が「国鉄清算事業団」国鉄、清算事業団送りが原則。

例外的に新会社に採用する。名簿の作成過程には一切規制をかける」とし、動労千葉をはじめめぐる労働組合は、職員管理調書で下位につけ、労働処分は最下位につけるという形で名簿作成が行われた。

そういう名簿のつくり方自身が不当差別だと憲法違反について



「動労総連合を全国へ」

動労総連合は4月29日、定期中央委員会を開催した。千葉・水戸・西日本・高崎の各単組での組織拡大と動労神奈川の結成の勝利を確認し、さらなる闘いと組織拡大への決意にあふれた。

解雇撤回・JR復帰を求める最高裁署名 9万3084筆 (15年5月14日現在)

最高裁に『国鉄改革前後の労務政策の内幕』という井手の座談会の記録も提出した。

国鉄改革法23条4項は、設立委員会の行ったことは新会社JRの行ったことと認めるとなっている。つまり設立委員会の行った不当労働行為はJRの不当労働行為。設立委員会と葛西や井手らの国鉄当局の共謀による不当労働行為によって差別されたのであるなら現状回復させると当然にJRに復帰させなければならない。

動労千葉労働運動を広げる

鈴木達夫 (弁護士・法政大学弾圧裁判弁護士)

東京高裁が3月の国労組合員資格訴訟と4月の動労千葉安全運動闘争裁判で反動判決を出している。この二つをみても中曾根の総評解散に次ぐ労働運動再編の攻撃が始まっており、動労千葉と動労総連合が目撃となつていく。そこをしっかりと鋭角的に問われている。

国労組合員資格裁判では、企業を離れたら自動的に組合員資格を失う「組合自治で決めたんだからいいんだ」と言っている。最後に使ったのが4・9政治和解。今後は闘いを一切で解雇された28人は97年に解雇

国鉄闘争全国運動6・7全国集会

6月7日(日) 12時30分開始(正午開場)

東京・日比谷公会堂 (呼びかけ) 国鉄闘争全国運動 ※一部チラシで開始時間が午後1時となっていますが会場の都合により30分繰り上げ開始に変更となります。お詫し訂正します。

動労千葉 CTSから8人加入

JR千葉支社が清掃や検修・構内業務、駅業務などを委託しているJR千葉鉄道サービス(CTS)の木更津・館山事業所で働く労働者8人が4月、動労千葉に新たに加入しました。

外注化や規制緩和により鉄道事業がバラバラに分割・委託され、雇用と安全が破壊されてい

撤回された。停職処分や清算事業団に送られた労働者の解雇を認めることは道理の上でもありえない。中曾根の新憲法を床の間に据える攻撃の最大のポイントが国

鉄の労働運動つぶしにあった。それに対し動労千葉を中心に闘い抜いてきた。日本階級闘争の中で国鉄闘争の意義は非常に大きなものがある。

動労千葉の安全保安闘争への高裁判決は「使用者の運転時分の管理、支配を一次的に排除して組合の管理支配下においたゆえに違法」とし、労調法で認め

らないう約束したから原告4人もその枠内だ」として国労本部を救った。

「何もやらない組合ではダメだ」と思った

Bさん、「労働条件の向上へ頑張ります」(木更津事業所/Cさん)、「行動してより良い職場にしたい」(君津事業所/Dさん)、「CTS労組では労働組合に加入している意味がない」(君津事業所/Eさん)、「職場の問題と向き合い、良くしたい」(木更津事業所/Fさん)、「行動してより良い職場にしたい」(木更津事業所/Gさん)、「労働者のために闘う組合が必要」(館山事業所/Hさん)

(表面からの続き)

トライキをやった当時に比べればわれわれははるかに前進している。新自由主義が破綻し、ここまでできた。

改憲も戦後革命の時点に舞い戻っている。安倍がそこを突破しようとしている。日米関係をものすごい矛盾に叩き込み、アジア人民を敵に回す以外ない。包囲されている。

だから僕は改憲でも大変だと考えない。安倍・葛西・櫻井しかない。奴らは戦後労働運動

現場の主人公は労働者

鎌倉孝夫 (経済学者・埼玉大学名誉教授)

金融資本、擬制資本と言って良いと思うが株価至上主義で生産的基盤を軸にして自立してない。金融資本は国家なくして自立できない。国家をとことん利用しようとしている。

教育も福祉も民営化して金融儲けの場にする。国ができない恐慌対策をJRが担う。戦争会社

のことを何も知らない。まさに千載一遇のチャンス、ゼネスト情勢で倒してしまおう。その中心に6・7集会がある。最高裁をギリギリ追い詰めている。

日比谷公会堂を満杯にし、来年の参議院選に向けて改憲阻止1千万署名運動を思い切つてやる。組織するのは労働運動との結合、職場の闘いの力。動労千葉のこの間のストライキは決定的だった。何よりも実物の決起を訴える最高の闘い。鈴コンの闘いをみてもらいます。

千葉のこの間のストライキは決定的だった。何よりも実物の決起を訴える最高の闘い。鈴コンの闘いをみてもらいます。

どうするか。公務員を叩き、賃金を下げる。規制緩和を推進する。財政の中身は個別金融資本がどう儲けるか。リニアなど典型的にそう。復興対策だって地域の再生どころでない。輸出もインフラ輸出、システム輸出原発・新幹線。その中心を安倍が担っている。

現場の労働者の住んでるところをつぶす。反発は必ず起きる。邦人の生命が危ない。自衛隊が必要。まったく帝国主義の姿。国内的には軍産学に労働組合も含めて軍産学労の複合体になっていく。

職場をこえて討議の場を

伊藤 晃 (日本近代史研究者)

1千万署名は架空の話ではないと思います。架空の話ではないんだがそのきっかけをどうつかむか。われわれはそれをつかみかねている状況と思う。

地域・働き方・人間が破壊されている。しかし具体的に何が起きているかの状況をわれわれが聞けるのは鉄道だけ。

私も教師だから教育に関心あるが、学校の崩壊・学力テスト・人間・教育・生き方が壊れている。ところが具体的にどうするか

者をとことん自由・勝手につかえる。そうなるまで財政はガタガタになる。1992年以降、日本はマイナス成長。一握りの資本の利益はものすごいが全体はまったく成長していない。一部の資本の利益が拡大しても税収は増えない。法人税はどんどん下げて財政はメチャメチャになる。

どうするか。公務員を叩き、賃金を下げる。規制緩和を推進する。財政の中身は個別金融資本がどう儲けるか。リニアなど典型的にそう。復興対策だって地域の再生どころでない。輸出もインフラ輸出、システム輸出原発・新幹線。その中心を安倍が担っている。

現場の労働者の住んでるところをつぶす。反発は必ず起きる。邦人の生命が危ない。自衛隊が必要。まったく帝国主義の姿。国内的には軍産学に労働組合も含めて軍産学労の複合体になっていく。

をつくっていくかを考える。その場合、問題は何かの議論できる職場のグループをつくる。自分たちの問題と結びつけて討議資料をつくり、議論していく。

そういう場合、ある場所に行つて鉄道の問題を論じるセッションがありますよ。それが自分たちのところでどうなのかを議論していくべき。

昔、渡辺政之輔という左派のリーダーがいたが、勉強家というらしいな試みをした。その中で一つの工場に行つて労働者をつかまえてその工場を調査する。資本系統・労働条件・賃金・考え

資本は儲かるがGDPの成長にはならない。労働者の状態はますます厳しくなる。労働組合の中に、これから好循環が始まるみたいなアベノミクスの幻想がある。戦争経済体制、戦争マスコミ体制、そこまでいく。

この状況を転換させるには、現場の主人公は労働者なのだ。それを表現していく主体が積極的に問われている。動労千葉が下請け労働者に直接働きかけながら組織化していくことは本当にすごいと思う。

6・7集会に向けて宣伝紙

6・7集会の宣伝紙を作成しました。2〜3面では動労総連合の闘いを特集しています。6・7日比谷公会堂への大結集に向けてご活用下さい。

ら労働者を組織して主体的実力を発揮するしかない。生産管理という方法は現実の戦略路線として提起していいと思う。

それを表現していく主体が積極的に問われている。動労千葉が下請け労働者に直接働きかけながら組織化していくことは本当にすごいと思う。

6・7集会の意義は大きい

芹澤壽良 (解雇撤回10万人署名呼びかけ人)

1月以来の会議なので4カ月間の蓄積を直接みなさんに聞きたいと思ひ、非常に刺激的なお話が続く、あらためて情勢をどうええおさないといけないという率直な思いです。

労働組合の力を発揮する

花輪不二男 (世田谷地区労働組合協議会顧問)

僕は運動家なので情勢分析というよりは現場はどうかということですが、体制的な危機感を肌でひしひしと感じている。労働者が現状を打破していくために僕らがどれだけ力を発揮していけるか、これからの問題がかかっている。

一言でいえば僕らは奴隷ではないが実際には鎖がついている状態で労働者は働かされている。ここをぶち破るのは自覚的

素を持っている。ないないづくしの労働者の生活は追い込まれると内向きになりがちだが、闘っている者がいることを示せば広がる要素はまだある。

生産管理の話があったが、鈴コンの場合は向こうが投げ出したら乗っ取る展望を持ちながら闘ってきた。闘い方によって労働組合の力は発揮できる。

いまの情勢は、国家権力を使って徹底的に弾圧して考え方も勉強させない、労働者の自覚を持たせない攻撃。メーデーでも政府が賃上げしてくれたからヨシなんて報道がされている。

裁判闘争でも鈴コンのように闘えば勝てる素地はある。地域合同労働組があり動労の各組織が立ち上がっていく。それを背に感じながらもまだまだ自覚していない労働者に右を投げれば波紋が広がるように広がっていく必要

敵に成長の余地はない

入江史郎 (スタンダード・ウェアキョム 石油自主労働組合委員長)

国へという形で気運が生まれ、動労神奈川が結成された。合同労働組全国一般も職場からの労働運動の展開が目に見える形で盛り上がってきている。

4月29日の連合中央メーデーではUAセンセンとNNT労組がかなりの部分を占めた。改憲へ向けての意図を感じる。櫻井よしこが「連合を分裂させよ」

改憲反対の大運動を職場から

今日の話、日本もEUもアメリカも中国も成長の余地はない。ただ彼らには「成長」しかない。そここつちの付け目がある。闘いながら見出してあとであそこが核心だったなと思えればいい。

今日の話、日本もEUもアメリカも中国も成長の余地はない。ただ彼らには「成長」しかない。そここつちの付け目がある。闘いながら見出してあとであそこが核心だったなと思えればいい。

今日の話、日本もEUもアメリカも中国も成長の余地はない。ただ彼らには「成長」しかない。そここつちの付け目がある。闘いながら見出してあとであそこが核心だったなと思えればいい。

来春、電力の小売が完全自由化になる。日本の石油会社は、石油精製専用が多かったがそれだけで成り立たなくて、いろいろ手を出している。けれども海外で利益があらがない。電力の自由化にむけてソフトバンクとかまったく関係ないところも手を出している。

今日の話、日本もEUもアメリカも中国も成長の余地はない。ただ彼らには「成長」しかない。そここつちの付け目がある。闘いながら見出してあとであそこが核心だったなと思えればいい。

今日の話、日本もEUもアメリカも中国も成長の余地はない。ただ彼らには「成長」しかない。そここつちの付け目がある。闘いながら見出してあとであそこが核心だったなと思えればいい。